

かぎ針付タティングシャトルで作る 糸ボタン<基本の作り方>



技法考案／工房ハーモニー

<作り方>

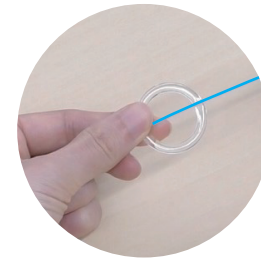
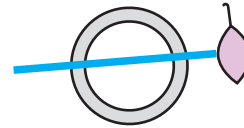
「糸ボタン基本の作り方」の動画も参考にしてください。



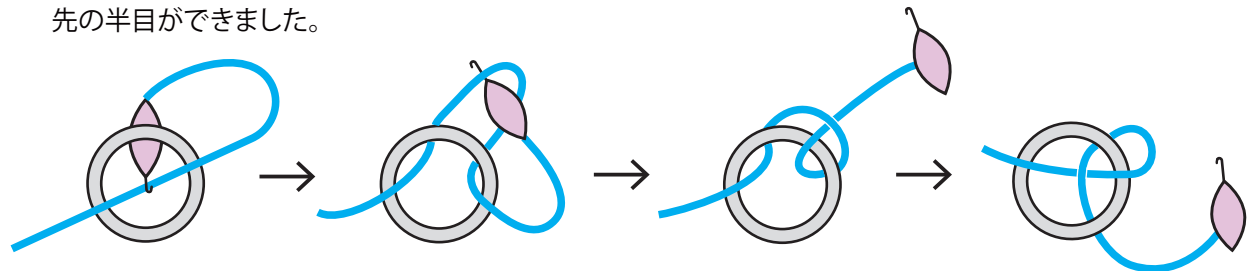
<https://clover.co.jp/movie/tattingbutton>

①糸(約3.5m)をかぎ針付タティングシャトル<No.8>に巻きます。
シャトルへの巻き方は、かぎ針付タティングシャトルの商品付属の説明書や、「糸ボタン基本の作り方」の動画をご覧ください。

②糸とリングを左手に持ち、リングの上に糸を渡します。



③シャトルをリングの下に持って行き、シャトルのかぎ針で糸を引き出し、そのままシャトルを糸の中に通して糸を引きます。
先の半目ができました。



<使用道具>

57-710 かぎ針付タティングシャトル
<No.8 (0.90mm)>
<https://clover.co.jp/products/57710>

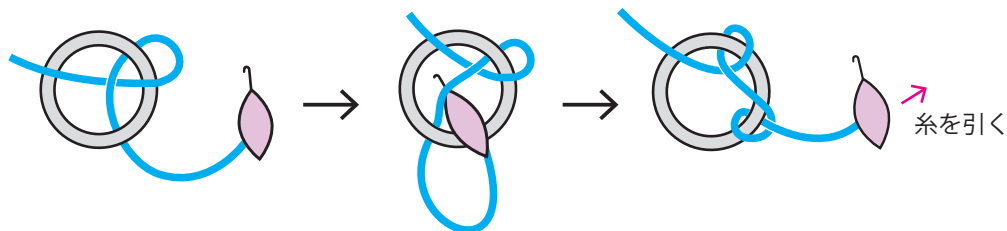


36-666 カットワークはさみ115(11.5cm)
<https://clover.co.jp/products/36666>

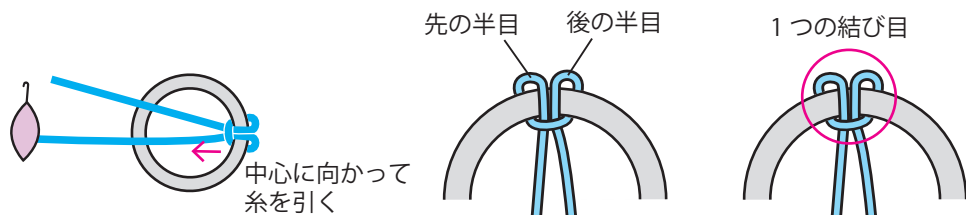
<見本作品の材料>

手芸用リング(透明リング) 直径30mm
ステッチ糸 (フジックス「MOCO」(70)) 約3.5m

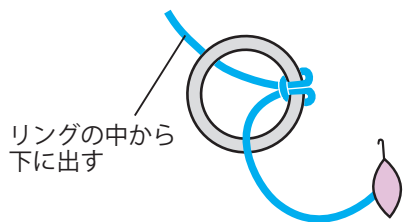
④シャトルをリングの上に持って行き、シャトルのかぎ針で糸を引き出し、そのままシャトルを糸の中を通して糸を引きます。



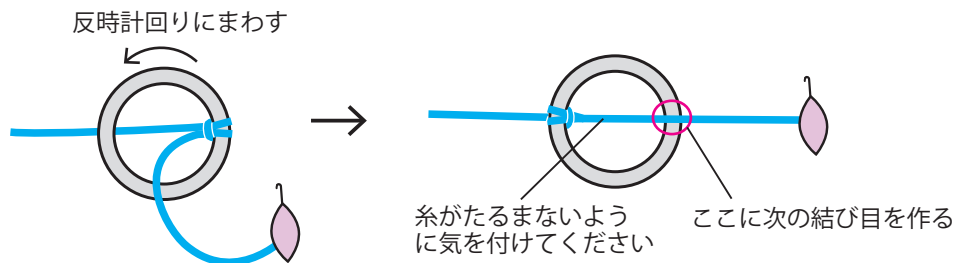
⑤リングの中心に向かって糸を引きます。後の半目ができました。先の半目と後の半目で、1つの結び目になります。



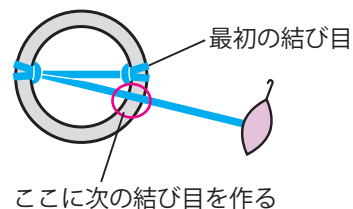
⑥左手で持っている糸端をリングの中から下に出し、また左手で持ちます。



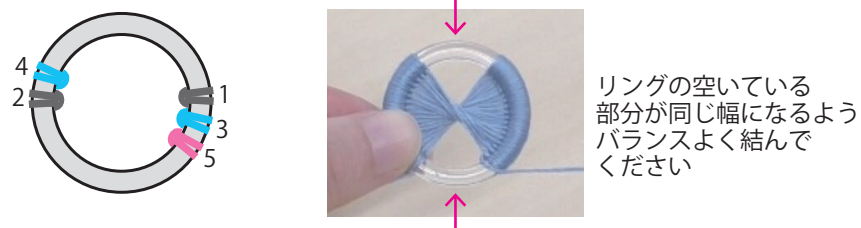
⑦リングを反時計回りにまわし、最初の結び目を左手で押さえるように持ちます。最初の結び目の反対側に、次の結び目を作ります(結び目の作り方は③～⑤と同じ)。



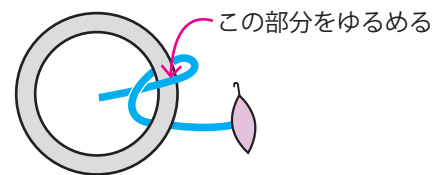
⑧リングを反時計回りにまわし、最初の結び目のすぐ下に、次の結び目を作ります。



⑨以降は同じようにリングを反時計回りにまわしながら、反対側(対角線)にある「できている目」の隣に結び目を作っていきます。



※リングに結び目が詰まってくると、後の半目の糸が拾いにくくなってきます。その時は、先の半目の糸をシャトルのかぎ針で少しゆるめると、次に拾う糸がわかりやすくなります。



⑩結び目を手で寄せながら、隙間が無いように一周結べたら、糸端を10cmほど残してカットします。

⑪糸ボタンの裏表をお好みで決めます。シャトルのかぎ針を使って糸端を2本とも裏側に出し、糸端同士をしっかりと結びます。結び目がほどけるのが心配な場合はボンドを付けてください。糸端を短く切って完成です。

クロバー株式会社